



日・ガーナ共同声明(主要点)



外務省アフリカ第一課

1 総論

- 自由、民主主義、法の支配及びグッド・ガバナンスの尊重といった普遍的価値に基づく友好・協力関係の着実な進展を歓迎。
- アクフォ＝アド大統領は、TICADプロセスを通じたアフリカ開発における日本の多大な貢献を評価し、TICAD7への参加を約束。両首脳は、TICAD7の成功に向けた協力を再確認。

2 二国間関係の強化

- 両首脳は、野口英世博士に象徴される豊かな歴史に基づき、長きにわたる友好・協力関係が新たな段階に入ることを確認。安倍総理は、アクフォ＝アド大統領による「援助を越えるガーナ」(Ghana Beyond Aid)構想を称賛し、社会経済開発に向けた支援の継続を再確認。
- 以下を含む協力に言及。
 - (1)西アフリカ「成長の環」に位置するガーナの連結性向上に資するインフラ整備(第二次国道八号線改修計画)に関する交換公文の署名
 - (2)質の高いインフラ整備(アクラ中心部電力供給強化計画、テマ交差点改良計画)
 - (3)ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの促進(野口医学研究所の貢献、栄養改善支援、母子手帳の導入)
 - (4)教育及び人材育成(人材育成奨学計画、ABEイニシアティブ等)
- 日本ガーナ投資フォーラムの開催に満足の意。アクフォ＝アド大統領は、日本企業の進出を歓迎、ビジネス・投資環境の整備にコミット。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた協力や二国間の文化、スポーツ、学問、人的交流を更に増加。

3 国際場裡での協力

【海洋安全保障】

- 両首脳は、UNCLOSを含む法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持へのコミットメントを再確認。
⇒ 航行及び上空飛行の自由、阻害されない貿易、係争のある地形の非軍事化及び自制並びに法的及び外交的プロセスの完全な尊重を通じたものを含む国際法に基づく紛争の平和的解決の重要性を強調。
⇒ 現状を変更し得るあらゆる一方的行動に反対を表明。
⇒ ギニア湾海域における海賊・海上武装強盗事案の増加を懸念。海賊、違法漁業への対応を含め、海上の安全に関する協力を推進する必要性を再確認。

【積極的平和主義】

- アクフォ＝アド大統領は、日本の国際協調主義に基づく「積極的平和主義」を支持。

【北朝鮮】

- 両首脳は、北朝鮮による全ての大量破壊兵器及びあらゆる射程の弾道ミサイルの完全な、検証可能な、かつ不可逆的な廃棄という国際社会の目標に対するコミットメントを再確認。北朝鮮に対し、非核化に向けた具体的な措置を講じることを求めるとともに、関連安保理決議の完全な履行へのコミットメントを確認。
- 拉致問題の即時解決の重要性を強調。

【国連安保理改革】

- 両首脳は、テキスト・ベース交渉の早期開始の必要性を強調。改革の早期実現に向け、政府間交渉に引き続き取り組む決意を表明し、日本とアフリカ間の対話継続の重要性を確認。

【その他の協力】

- 「持続可能な開発目標(SDGs)」及び「アジェンダ2063」に沿った協力の必要性を確認。
- NPTの重要性を強調し、2020年のNPT運用検討会議の意義ある成果へ向けた協力の必要性を確認。また、CTBTの発効等発効促進等核軍縮・不拡散に関する協力を確認。
- アクフォ＝アド大統領は、2025年国際博覧会選挙における大阪開催決定に祝意を表明。安倍総理より、ガーナからの支持に謝意を表明。